

5月の学校経営 VISION



大志にいどみ 活気あふれる 我が母校こそ わが誇り ～地域に誇れる一流の吉岡中学校～

よく学ぶ生徒（知）

心豊かな生徒（徳）

健康でたくましい生徒（体）

5月の学校経営の重点 ○行事（修学旅行、生徒総会等）に向けての指導を通して生徒の変容を目指す。
「自ら動く！」

5月の生徒指導重点目標

○きまりや時間を守り、節度ある生活 ○部活動、専門委員会の自主的な取組

今月の留意点

- 1 大型連休後の生徒の様子への把握（生徒理解の推進、早期発見と早期対応）**
 - 生活記録ノートや観察、学年会での情報交換等により、生徒の様子を把握する。
 - 連休前と比べて様子が変わった生徒（一人での生徒、元気のない生徒）など、気になる生徒には、教育相談や家庭と連絡をとるなど早目に対応する。
 - 学級懇談会（4月28日実施）で出された意見や要望は、担任から学年主任、生徒指導主任、管理職にあげ、誠意をもってスピード感のある対応をする。
 - （初期対応が肝）**
 - 2 命の教育、人権教育の推進（相手の立場に立って物事を考え判断する力の育成）**
 - 人権旬間（5月2日～5月12日）の取組を通して、人権について考えさせ、人権感覚、共生の心の育成に取り組む。
 - 生徒が書いた人権作文から実態を把握し、必要に応じて指導する。
 - いじめに関する学級指導をとおして、いじめを受けている生徒の気持ちを共感させ、「いじめをしない、させない、許さない」ことを徹底する。
 - （いじめ緊急対策マニュアルの確認）**
 - 3 生徒会活動の指導の徹底（リーダーの育成、クラスの団結力の育成）**
 - 具体的な活動を通して、リーダーが成長するよう支援していく。3年が1、2年を指導支援する場面を多く設定する。
 - 専門委員会を通して、時間を守る、ルールを守るなど節度ある行動を指導していく。
 - 専門委員会を通して、吉中生の自覚、誇りを持たせ、学校としての団結力を高める。
 - できたこと、努力したことは大いに褒め、生徒に自信を持たせ、生徒のやる気を高める。
 - （生徒が主役、教師は黒子）**
 - 4 修学旅行（3年）の指導の徹底（生徒が主人公、生徒の自主性、自治能力の育成）**
 - タイムテーブルを確認するとともに、教師側の役割分担を確認する。
 - 現地で生徒が自主的に行動することができるよう事前指導を徹底する。
 - 教師側の打ち合わせを綿密に行い、様々な想定に対する具体的な対応を考える。また、役割分担を明確にしておく。
 - できたこと、努力したことは大いに褒め、生徒に自信を持たせ、生徒のやる気を高める。
- （一生の思い出、安全、生徒の成就感）**